特許取得済

応急復旧工法

ダンタン

震災時の道路

段差　不陸　陥没

短時間で解消

特長 1　被災した現場の形状に合わせてスロープを作成

特長 2　約１時間 でスロープを作成。すぐに走行が可能

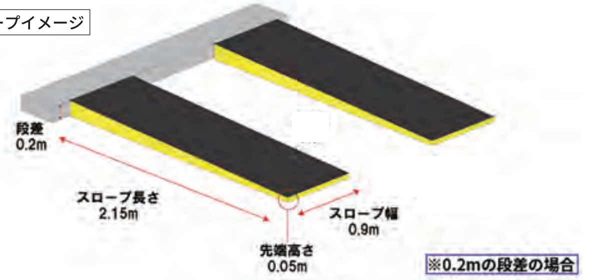
※被災現場の状況により時間は前後することがあります

適用場所　震災が原因で生じた「段差・不陸・陥没」箇所で、
緊急交通路の確保のため、早急に復旧が必要とされている道路

※本復旧までの応急復旧工法になります

震災時に生じる道路の段差・不陸・陥没は緊急交通の妨げになり、被災地の復旧・復興が遅れてしまう要因となります。迅速に緊急交通を可能にするため、高強度ウレタン樹脂を使用しスロープを作成。路面に生じた段差や不陸、陥没を速やかに解消し車両の走行を可能にする工法です。

スロープイメージ

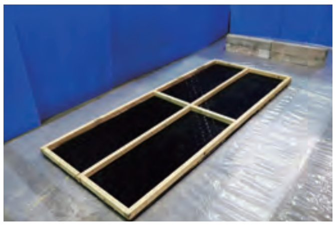


スロープ幅、スロープ間、勾配は
普通乗用車・大型トラックのトレッド幅及びタイヤ幅から算出。

施工手順

1 スロープ板組み立て

敷版の裏に木材をビスで取りつけ
版板を作成

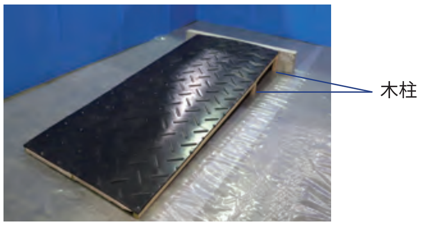


2 版板補強

版板の裏にウレタン樹脂を吹付、
版板を補強

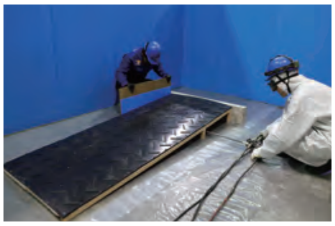
3 スロープ設置

勾配に合わせ、木柱を差し込みスロープ板を設置
段差に対しスロープを形成。※段差によりスロープ版、木柱の長さが異なる



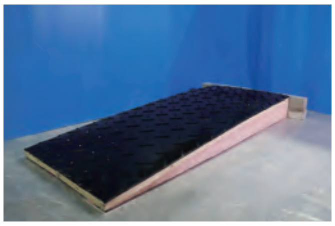
4 ウレタン注入

側面に当て板をし、スロープ板下にウレタン樹脂を注入し空洞を充填



5 スロープ形成

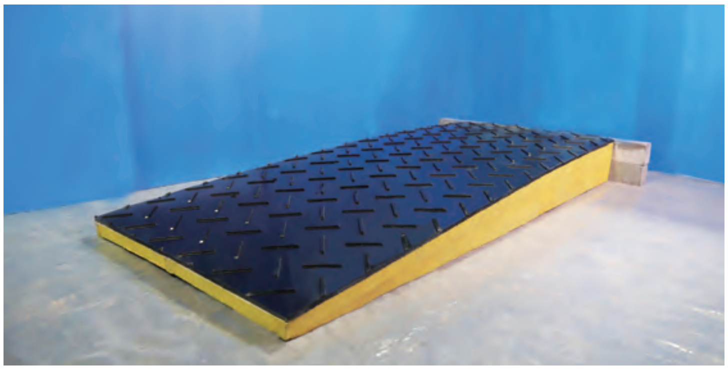
側面にはみ出した場合、
ウレタン樹脂を切断しスロープを形成



6 紫外線防止剤塗付

切断した側面のウレタン樹脂部分に紫外線防止材を塗付し、耐力低下を防ぐ

7 完成



完成後 15 分で走行可能

車両の交通障害を速やかに解消します

応急復旧工法ダンタンの概要

震災時に生じた道路の段差に、高強度ウレタン樹脂でスロープを作成することで、応急的に車両の走行を可能にする工法です。資機材一式を搭載したトラックで駆け付け、発生した段差を**約 1 時間で応急復旧**します。高強度ウレタン樹脂は、硬化する時間が早いため、スロープ作成後**約 15 分で大型車両の走行を可能**にします。また地面と密着し高い安定性を実現します。
段差だけでなく不陸や陥没に吹き付けて補修することが可能です。
速やかな対応で車両の走行を可能にし、被災地の迅速な復旧・復興に貢献します。

使用材料について

車両走行に耐えられる強度のある
高強度ウレタン樹脂を使用します。
ウレタン樹脂注入後**約 15 分**で
圧縮強度 500 kPa 以上を発現します。
(最終圧縮強度：1400kPa)

高強度ウレタン樹脂(物性値)

特性項目	単位	物性値	試験方法適用規格
密度	kg/m^3	185	JIS K 7222 :2005
圧縮強さ	kPa	1400	JIS K 7220 :2006
曲げ強さ	kPa	900	JIS K 7221−2 :2006

※物性値は標準値であり、保証値ではありません。※フリー発泡時

特許取得済み

UPCON
アップコン株式会社

本　社　〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611
連絡事務所　札幌／仙台／名古屋／大阪／福岡　日本全国 調査・施工
フリーコール 0800-123-0120

Webで検索
アップコン
upcon.co.jp

L003-4/R200/2505/